2014/11/05

きょろちゃんずずず

【メモ】

問題はなにか…？

ここ不明瞭！

⇒グローバル人材を育成してなにしたいの？

留学生をいれてなにをしたいの？

先行研究者が主張したとしても、そこの要因分析やそれ以上のことには言及されていないから、そこに着目していく。海外比較やカリキュラム比較は１つのツールとして使って行けばいいのではないか？

ボローニャプロセス・エラスムス宣言（EUだけじゃない）

大学間連携　1大学vs１大学の場合多い⇒相互的な交流ができていないのではないか？

**＜どこかにいれるシリーズ＞**

**◆**国際化する中で留学生政策は大切！　　東條さん？

◆なんでこれ考える必要があるの？→日本は留学生政策に関してはあぐらをかいてられない

(高等教育？)

⇒向こうにもメリットがないと！EUみたいのがないと経済的なつながりがないから…

◆なんで留学生政策に力をいれなければいけないのか？→グローバル化に乗り遅れないようにしなければ！＆人材の流出が起こってしまう。

◆目的に即して体系的に政策をたてないといけない。

◆日本の留学生政策実際に今何をしているか

**②＜PP＞グローバル化する中で、(国際化における重要な政策である)日本は留学弱者で、留学生政策が弱いことは問題**

**⇒国際化の流れにのるためには留学生政策頑張らないといけないよね…！**

…色んな要素を入れて「弱い」を論じる（留学生の受入数が少ない、英語圏でない、経済的に依存関係にある国がないとかもろもろの問題で固める）

**③＜RQ＞日本が今後、留学生政策(ひいては国際化)を進めていく際にはどうしたらいいのだろう？？**

⇒留学生政策の様々な課題について述べている先行研究をみていこう！

先行研究検討

　・

　・

　・

⇒色んな問題があり！その中でここにフォーカス！！

Ex.)一部の先行研究で特定のグローバル30…なんのためにやるのか？とかある

⇒全ての留学生政策の目的をしっかりと検討している先行研究は見当たらなかった～

問題はなにか…？

ここ不明瞭！

⇒送出し：グローバル人材を育成してなにしたいの？

受入れ：留学生をいれてなにをしたいの？

(ほんとに不明瞭…？)⇒これは調べる。EUとかと比べる時に。

⇒もう一段階課題を落とし込める？

一方で、ヨーロッパにおけるボローニャプロセスはEU圏内の人材育成が喫緊の課題→人材育成

シンガポールでは優秀な人材を自国に留まらせるために留学生政策を充実、就労義務など　移民政策

⇒それぞれ目的に即した留学生政策のカラーある

日本にとっての海外留学政策の目的、それに付随してどのような政策をすべきかを模索していきます！

流出も防がねばだし。(文化的背景？)

**（仮説・main claim）日本は留学政策の目的をはっきりさせて、政策をその方向にすることで、もっとうまく国際化できる。**

**肉付け　海外比較　はっきりしてて留学生もいっぱい来てる**

**はっきりしてなくこない。やばい。**

**こんな文化的背景をもとに～やって**

**【めも】**

**どういった条件、状況のもとでどういうことがおきるのかとか**

**社会的状況とか経済的状況とか？**

**宿題**

**・「高等教育における留学生政策」**

**・グローバル30の目的ってなに？って言ってる先行研究**

**・ボローニャプロセスorエラスムス計画がEU圏内の人材育成を目的としているとする先行研究**

**・シンガポールが移民政策を含む先行研究**

**・日本の留学生政策について批判している先行研究**

**・日本の留学生政策の目的が曖昧である理由を述べている先行研究**